

角度から創意工夫をして、「顔の見える町会・顔のわかる町会」を目指していきたいと思っております。



夏まつりにて

家族的な雰囲気の中で 本町第三町会 細谷良暉

本町第三町会は、青梅線福生駅の西口に近く、日常生活には何かと便利なところに位置しています。その面積は、横幅わずか60メートルで、町会内には店舗や共同住宅が多く、そのため町会の加入世帯数は、他の町会・自治会に比べ少なくなっています。駅前という事情などから、有料駐車場が増えてきました。また、少子高齢化が課題となっております。

まさに我が国の縮図そのものと言えます。現在は、戸建て住宅の会員33戸、集合住宅4棟、店舗の会員の構成です。小さな町会ながらも、毎年、カラオケの集い、町会内清掃、夏祭り、盆踊り、防災訓練・防災研修会、ボウリング大会等、さまざまな活動を行い、会員同士の親睦を図っています。少人数のため、家族的な雰囲気の中でできることが、私たちの町会の最大のメリットです。誰が参加したかというよりも、今回は誰が来られなかった、という感覚で、会員同士協力して取り組んでいます。小学校のPTAは、二昔前より3つの町会が行動をとるにし、高齢者の方は、現在、3町会合同による「サポーターいち・にい・さん」で活動しています。

町会長協議会では、町会の加入率を上げる運動を展開中です。昔は、「向こう三軒両隣」と言っていました。私たちの町会でも存続困難になっていることもあります。会員の方々には、ふるって行動をお願いしているところです。会員のみなさん、どんどん参加してください。



町会内清掃

第6号内容に誤りがありました。訂正してお詫び申し上げます。
・3ページ町会区域図 熊川駅の右下の町会名 (誤)鍋ヶ谷第二町会
↓ (正)鍋ヶ谷第一町会
・5ページ1段10行目 (誤)5階建て8棟↓(正)5階建て11棟

広告掲載スペース

地域づくり講演会 「パワーアップ!地域コミュニティー」レポート

2月14日、福生市主催で地域づくり講演会「パワーアップ!地域コミュニティー」が開催されました。

講師は、コミュニティ論を専門とされ、ご自身もまちづくり活動を実践されている名和田是彦さん(法政大学教授)でした。

講演では、「近年、町会・自治会は、地域を支える存在として見直されてきている一方、加入率低下や会員の高齢化、役員のみならず、課題はさまざまです。こうした現状の中、町会を中心に、民生委員やPTAなど地域の団体と横の連携を良くする新しい組織を作るしくみ、誰も立ち寄れる交流拠点を作り、地域のつながりを次第に広めていく仕組みづくりなどが行われています。」と、町会・自治会のこれからを考える上で参考となる、さまざまな具体例が紹介されました。

平成21年3月

編集委員長 森井常貴
編集委員 持田 洸

千葉 進 田中 守
井上賢司